

減少止める仕組み模索

城下町の面影をいまに残す金沢の町家。貴重な歴史的建築物だが、年間約100軒のペースで減りつつある。北陸新幹線が開業し、市街地でホテルやマンション開発が進むなか、町家の継承や活用を目指すNPO法人「金澤町家研究会」の川上光彦理事長(70)に現状や課題を聞いた。

NPO法人「金澤町家研究会」理事長

川上 光彦さん (70)

——町家はどのくらい残っているのですか

——壊される理由は

1950年以前に建てられた町家や武士系住宅、近代和風住宅のことを「金澤町家」と呼んでいます。現在、町中

建物が古くなって暮らさないかも、と地震や火事のときに危うです。特に建物を相続する



ときが難しい。複数の相続人がいる場合、壊して売ろうということになりがちです。でも木造住宅は組み立て住宅なので、傷んだ部材を補修すればいくらでももちます。耐震や延焼防止の対策をすれば、一定の効果もあります。

——町家が減り、町並みも変わりましたか

風景は昔に比べ、一変しました。裏通しも建てかわり、町家が連なって残っている所は少なくなっています。大きなお屋敷を見に行くこともあ

空いている町家とそれを買いたいという人はどのくらいいるのですか

金沢市から委託を受け、オーナー(町家の所有者)とユザー(購入や賃貸希望者)とのコーディネート事業をし

——観光客が増えて活用も

——改めて金澤町家の魅力とは

金沢の歴史、風土を反映した最も金沢らしい文化的資源です。歴史的なたたずまいと、何よりも戦災を受けず昔からずっと暮らしが根づいて、人が住み続けている。そこにお茶とか庭、文化や暮らしが今でもずっとあるのは素晴らしいですね。

——町家が減り、町並みも変わりましたか

風景は昔に比べ、一変しました。裏通しも建てかわり、町家が連なって残っている所は少なくなっています。大きなお屋敷を見に行くこともあ

取り壊す場合は1年前の届け出を義務付ける条例や改修を難しくさせている建築基準法の適用を除外したりする条例があります。金沢市も同じ

——所有者の登録が少ないですね

空き家は多いのですが、市場に出てこないものが多い。町家を所有する高齢者の方が施設に入っていたり、売りたいとも貸したいとも思っていない

——京都市では京町家の保全・継承のための条例があるそうです

取り壊す場合は1年前の届け出を義務付ける条例や改修を難しくさせている建築基準法の適用を除外したりする条例があります。金沢市も同じ

——京都市では京町家の保全・継承のための条例があるそうです

取り壊す場合は1年前の届け出を義務付ける条例や改修を難しくさせている建築基準法の適用を除外したりする条例があります。金沢市も同じ

——京都市では京町家の保全・継承のための条例があるそうです

取り壊す場合は1年前の届け出を義務付ける条例や改修を難しくさせている建築基準法の適用を除外したりする条例があります。金沢市も同じ

——京都市では京町家の保全・継承のための条例があるそうです

取り壊す場合は1年前の届け出を義務付ける条例や改修を難しくさせている建築基準法の適用を除外したりする条例があります。金沢市も同じ

——京都市では京町家の保全・継承のための条例があるそうです

取り壊す場合は1年前の届け出を義務付ける条例や改修を難しくさせている建築基準法の適用を除外したりする条例があります。金沢市も同じ

——京都市では京町家の保全・継承のための条例があるそうです

取り壊す場合は1年前の届け出を義務付ける条例や改修を難しくさせている建築基準法の適用を除外したりする条例があります。金沢市も同じ

——京都市では京町家の保全・継承のための条例があるそうです

取り壊す場合は1年前の届け出を義務付ける条例や改修を難しくさせている建築基準法の適用を除外したりする条例があります。金沢市も同じ